

おがわち りく
小川内 陸さん

私が農作業で感じたことは「目に見えた達成感がある」ということです。いろいろな農作業があり、中には大変な作業もありましたが、どれも形に残るものばかりなので、自分の頑張った成果が実感でき、とても良い体験でした。



6



どい かいり
土井 海里さん

私は初めて田植えを体験しました。想像以上にヌルヌルしていて動くのが大変でしたが、慣れていくうちに楽しくなりました。

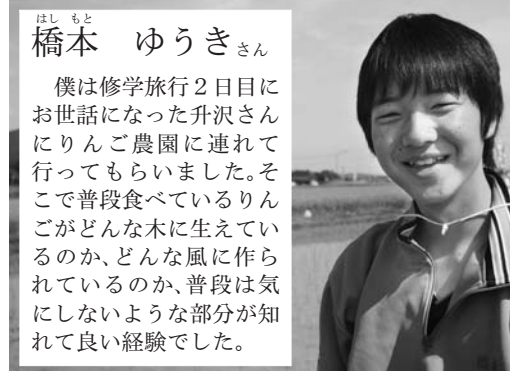
11月ごろには義経と静御前が田んぼに現れるということで、自分の目で完成を見てみたいです。



8



7



はしもと
橋本 ゆうきさん

僕は修学旅行2日目にお世話になった升沢さんにりんご農園に連れて行ってもらいました。そこで普段食べているりんごがどんな木に生えているのか、どんな風に作られているのか、普段は気にしないような部分が知れて良い経験でした。



10



9



さいとう あん
齋藤 安さん

私の平泉の第一印象は緑が豊かなということです。私がやった農作業はとうもろこしの苗植えでした。思った以上にハードで大変でした。それに小笠原家の皆さんが優しくしてくれて本当に楽しくかけがえのない思い出になりました。



11

思い出♡愛

【特集】平泉の可農性を探る 終わり

都会と比べて平泉町にないものはたくさんあります。しかし、反対に都会にないものもたくさんあるはず。先人が、自然とともに生き、培ってきたもの。当たり前のように私たちの暮らしの中で生き続けているものは、私たちにとってかけがえのないものであるということを今回再認識することができました。

私たちが今まで暮らしてきた農村風景。その大事な景色を守るためには、後継する若者の存在が必要不可欠です。農業の楽しさ、農業の魅力を次の世代に伝承する機会でもあるグリーン・ツーリズム事業。これからも農業体験を通じて、平泉の農業の魅力を広げていきます。

農家との出会い



2



1

1_対面式で千葉正吾会長の話を聞く生徒たち/2_受け入れ農家との初対面、農家も生徒もどちらも緊張気味/3_初めて田んぼに入り、歩き方を教わる/4_田植え作業中は笑顔が絶えない/5_農家姿も華麗に着こなす中学生/6_農作業が終わるころには農家と生徒は家族のように仲よし/7_都会では珍しい軽トラック/8_まき割りに挑戦中/9_別れの時、最後の言葉を掛け合う/10_涙の別れ、笑顔の記念撮影/11_バスが見えなくなるまで手を振る受け入れ農家の皆さん



3

農業との出会い



4

【特集】平泉の可農性を探る 終わり

農家の暮らしを体験する

今年も5月30日から1泊2日の日程で、神奈川県相模原市の緑が丘中学校の3年生116人が訪れました。農家と生徒の初顔合わせとなった対面式では、互いに緊張した面持ちであいさつを交わします。生徒たちにとって忘れられない大切な思い出となる農業体験が始まりました。

今回生徒たちが体験した作業は田植え、まき割り、野菜や果実の栽培、家畜の世話などさまざまなものがあります。初めての農作業のため最初は戸惑っていましたが、農家からやり方を丁寧に教えてもらうと、のみ込みの早い生徒たちはすぐにやり方を覚え、テキパキと作業をこなしていました。

農作業後は温泉に入るなどしてリラックス。そして待ちに待った晩ご飯。食卓には地元の新鮮な食材を使ったごちそうが並びました。もち料理や八斗汁など平泉の郷土料理に生徒たちから「美味しい」と歓声が上がります。大勢で囲む食卓はにぎやかで、笑顔があふれ、家族のようにすっかり打ち解けていました。

そして別れのとき

出迎えた時と同じように、受